

平成 27 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要

日時：平成 28 年 3 月 28 日(月) 15:00～16:30

場所：結とぴあ（多田記念大野有終会館）302 号室

議事：(1) 規約の改正

新規参加団体について

河川協力団体指定に伴う参加団体の枠組み変更について

- (2) 平成 26 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要
- (3) 平成 27 年度の各機関の取り組み状況
- (4) 平成 28 年度の活動について
- (5) 真名川ダム・九頭竜ダム記念事業について

1. 規約の改正について

一般財団法人水への恩返し財団の新規参加、奥越漁業協同組合・大野市漁業協同組合の河川協力団体指定による枠組み変更と規約の改正、について事務局から説明を行い、了承された。

2. 平成 26 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要について

平成 26 年度 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要について事務局より説明を行い、特に意見はなかった。

3. 平成 27 年度の各機関の取り組み状況について

平成 27 年度の取り組み状況について、それぞれの機関から説明を行った。主な質疑応答及び意見は以下のとおりである。

(1) 1. 森と湖に親しむ旬間行事～12. 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン HP 更新状況についての報告

・これまでダムを中心として毎年活発な取り組みが行われており、その効果が出ていると考えている。(委員長)

(2) 13. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり～24. 水への恩返し Carrying Water Project についての報告

・NPO 法人九頭竜自然学校は一旦解散したということであるが、取り組みはこれまでと同じように続けていくのか。(委員長)

(委員)そのつもりである。

4. 平成 28 年度の活動について

平成 28 年度の活動について事務局から説明を行った。また、河川協力団体の平成 28 年度取り組み予定について NPO 法人ドラゴンリバー交流会より補足説明を行った。なお、補足説明において平成 28 年の一斉清掃活動は 5 月 22 日から 5 月 15 日に変更で調整中との報告がなされた。主な質疑応答及び意見は以下のとおりである。

- ・九頭竜川の中流域から勝山市、大野市にかけての一斉清掃は、1 週早めて 5 月 15 日を実施を調整中ということであるが、参加できる機関にはご協力いただきたい。

(委員長)

(事務局)これについては、事務局の方から案内文を各機関に送付させていただく。また、それぞれの機関で参加者を募っていただき、奥越地域だけでも一斉に清掃ができればと考えている。

- ・ホームページを拡充したということであるが、効果はあったのか。(委員長)

(事務局)ホームページの拡充の効果もあるが、特に twitter については、フォロワーを得られている。ただ、多くのフォロワーは大野市の方というよりも関東などに在住しているダムマニアが多いので、防災情報の提供に対して今後どのようにして大野市の方に見ていただくかが課題であると考えている。

5. 真名川ダム・九頭竜ダム記念事業について

平成 30 年の九頭竜ダム管理開始 50 年、平成 31 年の真名川ダム管理開始 40 年の記念事業に向けたスケジュールや推進体制について事務局より説明を行った。主な質疑応答及び意見は以下のとおりである。

- ・来年度から記念事業に向けた組織づくりをするということなので、各機関にご協力いただきたいと考えている。また、(仮称)真名川ダム・九頭竜ダム記念事業実行部会の立ち上げについては異議なしということで、部会の立ち上げを宜しくお願ひしたい。(委員長)

6. 委員長まとめ

- ・平成 27 年度の活動報告や平成 28 年度以降の取り組み予定についてご報告・ご議論いただいたが、これまでの取り組みを次年度以降も進めていただきたい。
- ・また、今年度一般財団法人水への恩返し財団が新規に立ち上げられたということで、大野市における活動が次年度以降今後一層の推進されることを期待している。
- ・記念事業については、実行部会を立ち上げて準備を進めていただきたい。

7. 副委員長から

- ・平成 30 年に福井しあわせ元気国体のカヌー競技が和泉地区で行われるため、それに向けて大野市実行委員会・国土交通省などにご協力いただきながら進めているところである。これについても推進委員会の委員の皆様にご協力をお願いできればと考えている。

8. 委員から

- ・九頭竜川の上下流で河川美化を進めて行くことが大切であると考えており、大人も然ることながら、子どもに河川美化の大切さを伝えていく「日帰り留学」の取り組みも今後も一層進めて行っていただきたいと考えている。

9. 大野市長あいさつ

- ・国土交通省と県がそれぞれ管理している河川があるが、河川全川の美化は大切であると考えているので、うまく協力して進めて行っていただきたい。
- ・真名川ダム・九頭竜ダムの管理開始からそれぞれ 40 年・50 年ということであるが、このダムによってどれだけ恩恵を受けてきたのかを記念事業の中できちんと伝えていくことが大切であり、九頭竜川流域の PR に繋がるようなイベントとして進めていただきたいと考えている。各機関に今後ともご協力いただきたい。

10. 閉会

- ・これを持ちまして閉会といたします。ありがとうございました。

以 上